

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成21年 9月 2日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	873900450		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホームたまり	ユニット名	南
所在地	〒311-3434 小美玉市栗又四ケ2284-1		
自己評価作成日	平成 21年 9月 2日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成21年10月23日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

庭先には、2匹のわんちゃんを飼っていて何処の棟からもふれあう事が出来る。また、庭園には季節の野菜をつくり食を楽しんでいる。職員は、個性的なエプロンをつけ、常に明るいホームになるよう心がけている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	正信会としての理念を共有、意識づけしていくために日々話し合い実践へつなげている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	積極的の声かけ、挨拶をしている。行事等の呼びかけ 運営推進委員会を設置し、地域の代表者との意見を伺い交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進委員会を通じて、認知症利用者への理解や接し方などを伝えている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議より意見を頂き、それらをサービス向上に向け、努力しているが、まだ、具体的な効果は得られていない。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村等からの連絡事項を利用者家族へ逐次報告することで、市町村との協力関係が築けるよう努力している。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を必要としないケアの実践に取り組んでいるところではあるが、現状として転倒防止のため安全ベルトを着用しているもの1名、不潔行為防止のためつなぎ服を着用しているもの1名、計2名がいる。この2名については、定期的にカンファレンスを実施、再検討している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝礼時及び適時な機会において、個々に虐待防止法を教育することによって、職員一人一人の意識を高め、虐待の防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング等の機会を設けて、個々に話し合いをすることで、理解を高めるように努めている。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者家族への十分な説明を実施し、契約内容への不満、疑問等を完全に解消し、納得して頂いたうえで、契約して頂いている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を設置している。また、「苦情記録ノート」を作成し、適時、内容について職員全員で話し合い、改善方法等を検討している。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見収集のため、適時、職員間でミーティング等を実施し、グループホーム全体会議に反映させている。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の仕事に対する責任感及び向上心を育むことで、やりがいのある職場環境作りに心がけている。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の各種研修等参加を勤務調整等にて積極的に支援している。また、研修等参加者には、事後の発表等を実施してもらい、全職員へ研修内容を普及している。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現状は、実施していないが、他のグループホーム等との交流の場を設けたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人の気持ちを受け止め、本人の声に耳を傾けながら、本人が安心できる関係が構築出来るように努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者家族の気持ちを受け止め、家族の声に耳を傾けながら、家族が安心できる関係が構築出来るように努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談等を真摯に受け止め、利用者が段階的に施設へ馴染み、安心して生活できるように支援している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員が一緒に作業をすることで、利用者の体験談等を聞く機会を積極的に設け、共同生活者同士であるという意識を高めるように努力している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の外出・外泊の支援は、積極的に実施している。また、利用者本人が何らかの不安を感じている場合は、家族に訪問してもらっている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者本人の旧友、知人等が、いつでも気軽に来て頂けるような雰囲気及び職場環境作りに心がけている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員と積極的にコミュニケーションをとる利用者がいたり、他の利用者が使用する車椅子を押す等、利用者同士が、共に助け合い支え合って暮らしていけるように、職員全体で積極的に支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ移動されてからも、家族の方が気軽に立ち寄って頂ける様に声かけ等をしている。現在も数名の方が訪問してくださっている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者本人の意見を聞き、それに基づいてケアプランを作成し、担当者会議等で十分に話し合いをしている。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にこれまでの生活歴を聞いて対処している。または、サマリーを送付してもらっている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人を個人ファイルとして管理し、現状の把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとの見直し、認定更新時に本人、家族及び職員でサービス担当者会議を実施し、現状に即した介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活用している。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関との連携を含め、柔軟な対応を実施している。（具体例：2週間／1回の外来受診及び訪問受診、歯科訪問受診）

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、地域住民の方々及び警察、消防等の協力を得ながら支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人及び家族の希望を受け入れ、かかりつけ医に受診出来るよう支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設の母体が病院なので、利用者一人一人の健康状況等を相談しやすい環境にある。これらを利用者一人一人の健康管理及び医療支援につなげている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	症状が落ち着いたときは、早期退院に向けて、医師及び看護師と話し合い相談している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	職場全体として、利用者終末期の方針を定めていない現状にある。今後は、その対応をマニュアル化し、利用者本人、家族及び職員等で共有していけるように努める。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員一人一人が、救命法を取得し、ミーティング等実施時に初期対応の訓練を実施している。しかし、実践的な訓練機会が不足しており、やや不安がある職員も存在する。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を実施している。その訓練の際に地域の方々への協力を依頼し、協力体制の確保に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重した対応を心がけているが、まだまだ、職員の対応にプライバシーへの配慮に欠ける面も散見される。今後は、言葉かけの対応に十分注意していく。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行事等の際に、利用者本人の意志や希望等を出来るだけ取り入れ、利用者本人が楽しめるように支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事等の時間は、きまっているものの、それ以外の時間においては、原則として各自自由に過ごしてもらえるように支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者本人の好み、意向に応じた支援を実施している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に準備し、食事をし、後片付けをすることにより、楽しい雰囲気の中で食事が出来るように支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人の食事量及び水分量等には、細心の注意を払い、一日全体での必要量が確実に取れるよう、職員は、声かけ等の方法にて積極的に支援している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者一人一人の状況に応じた口腔ケアを行えるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者本人の希望による排泄誘導又は、一人一人の排泄パターンを理解した上でのトイレ誘導をし、排泄の自立に向けて支援している。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを実施し、利用者一人一人に応じた予防、対策等を講じられる様に支援している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	施設全体としては、週2回、午前中という制約があるものの、各棟別々の曜日のため、利用者本人のペースに合わせて自由に入浴出来るように支援している。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人一人に対し十分な休息や睡眠が取れるように支援している。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み忘れや誤薬を防ぐために、細心の注意を払い利用者本人への注意喚起を十分にするとともに、利用者本人の状態、経過変化を記録し医療機関に適時適切に報告して治療、服薬調整に活かしている。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員各自の可能な範囲内において、声かけ等及び見守りをしながら、楽しみごとなどの支援を実施している。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日1回程度を基準に散歩を実施している。また、家族の方に外出して頂き、適時外出が出来るよう支援している。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者本人の自己管理は、困難であり、トラブル発生の危険性があるため、原則として手元に金銭を所持させないようにしている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者本人の希望を十分理解したうえで、家族、友人等に電話することを支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>テレビの音量調節、室温に細心の注意を払いホール等には、季節感のあるレイアウトを心がけ、少しでも利用者が快適に過ごせるように努力している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者本人が過ごしたい場所で過ごせるように、イス等を設置する等、居場所が確保出来るような工夫をしている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者本人の使い慣れた物を家族に提供して頂く等、利用者が快適に生活して頂けるように努めている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内の廊下及びホール等はバリアフリーになっている。また、廊下等に歩行の妨げになる様な物品を置かない配慮を行い、利用者が安全で自立した生活が出来るように支援している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1,毎日ある <input type="radio"/> 2,数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3,たまにある <input type="radio"/> 4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2,家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3,家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1,ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2,数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3,たまに <input type="radio"/> 4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1,大いに増えている <input type="radio"/> 2,少しずつ増えている <input type="radio"/> 3,あまり増えていない <input type="radio"/> 4,全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2,職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2,家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない